

【題材名】第6学年社会科「武士の世の中へ」

【内容】ロイロノートを使って、自分の考えを友達と共有する。

【使用アプリ】ロイロノート

【事例紹介】

貴族と武士のくらしの様子が分かる絵を見比べ、様子の違いを考える。絵を見て、気が付いたことを、シートにまとめる。完成したら、提出箱に提出する。提出箱は、回答共有をしておくことで、それぞれのクロームブックから、友達シートを見ることができる。児童同士や学級全体で、提出したシートを見ながら話し合い、考えを深める。話し合ったことを基に振り返りを行い、友達と考えを伝え合う。



違いを見つけたら絵の中に印を書き込む。

画面共有を活用して、全体で意見を共有する



【解説】

ロイロノートで考えを共有することで、児童は多様な考え方に触れ、より主体的に学ぶとする態度が見られた。また、話し合った内容を基に、学習のまとめや振り返りを行うことで、学びを深めることができた。

【全校の取組】Google Meet を活用した集会活動

コロナウイルス感染症対策として、Google Meet を活用して、体育館での集会の様子を各学級で観られるようにした。体育館での活動に合わせて、クイズやゲームなど、各学級での盛り上がりも見られた。



(教育委員会主幹講評)「主体的・対話的で、深い学び」を実現するツールとして、小学校でのロイロノートの利活用が大きく進んでいます。この事例も二つの絵を見比べ、気が付いたことをカードに記入して、気付きを「見える化」して共有することで「深い学び」を実現しています。意見をロイロノートで共有することで発表が苦手な児童の意見も大切にすることができ「対話的な学び」につながっています。先生方の創意工夫を生かした、更なる活用事例をお待ちしています。